

五人の教授のご退職にあたって

真柄欽次教授、大野浩教授、山田政美教授、ロード・バーナード教授及び松岡紘一教授は本年度末をもって本学を定年ご退職となり、後進に道を譲られることとなりました。統合・独立法人化をいよいよ間際の4月に迎え、大きな変革を迫られる現在、大学の重鎮でおられた五人もの有能な先生方が本学を去られることは、残される私たちにとっては実に大きな痛手です。先生方のきびしい、しかし優しいお言葉がどれだけ私たちを助け、勇気づけてくださることかと感じざるを得ません。

真柄欽次教授は、民間企業を経てテキサス工科大学、テキサス大学、サウジアラビア国立大学、アラブ首長国連邦大学、筑波大学と国内外の大学を経験され、また本学でも評議員、学生生活部長を経験されました。真柄先生の主要論文を拝読しますと、103にも上り、かつ英文の論文が多いことに気付きます。先生は私たちに言葉で優しく説くとともに、論文の数々を示されたのです。

大野浩教授は、逆に金沢大学で講師、助教授、教授と一つの大学をずっと勤め上げ、その後本学に移られました。本学では、会計学原理、経営分析論、地方自治監査論等を担当し、会計監査制度史、公営事業会計と監査、比較監査制度史論等を研究テーマとしてきました。大野先生の寡黙な態度が私たちを新しい緊張の中で勇気づけてくれるのにと感じてしまいます。

山田政美教授は、鳥根県公立高校での教員生活を経て米国インディアナ大学大学院に留学され、鳥根大学の講師、助教授（米国カンザス大学院での在外研究員を含む）、教授、附属中学校校長（兼務）を経験されました。その後、本学に移られ評議員を、また日本時事英語学会副会長をつとめられ、その辞書学は我が校の誇りです。山田教授は4月からは特任教授として本学にお残りになりますが、これは本学が文部科学省の英語学の課程認定を得るためにやむをえない処置であり、山田教授の本学に対する思いの深さを感じさせるものでした。

ロード・バーナード教授は、オランダのご出身で米国インディアナ工科大学、インディアナ州立大学・インディアナ工科大学・中西部大学国際教育事業マレーシア校、南イリノイ大学カーボンテール校新潟分校、鳥根大学、鳥根県立国際短期大学を経て、本学に移られ鳥根県立大学教授となりました。ロード先生の弥栄町私邸の楽しい話は関係者の間では有名なものでした。私などはオランダの国立美術館改革をテーマに論文を書き、先生から冷やかされたものでした。

松岡紘一教授は、鎮西学院短期大学、福岡女学院短期大学、英国レディング大学、鳥根県立国際短期大学を経て、鳥根県立大学教授となりました。松岡先生といえば、鳥根県消費生活審議会会長、鳥根県企業局中長期

経営検討委員会委員長などと地域のことに詳しい、まさに地元を重視される方でした。「インフラ整備と地域経済」はまさに松岡先生が研究テーマとしているものです。

真柄欽次教授は残念ながら体調を崩され現在カナダに帰って療養中と聞いております。どうか1日も早く回復され、私たちを優しくご指導いただきますよう心からお祈り申し上げます。

定年ご退職の皆様のご健勝で末永く私たちをご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。

2007年3月吉日

総合政策学部長
大橋 敏博

真柄欽次先生には、カナダで御療養中のところ、2月20日（現地時間）に御逝去されたとの報をいただきました。謹んでお悔やみ申し上げます。